

# 春のお散歩、始める前に！

ワンちゃん・ネコちゃんを守るための注意点【北海道・道南地域版】



# 春は危険がいっぱい！

雪解けとともに、  
ペットの危険も増えます。

お散歩コースや家の中で、  
以下のものに注意しましょう。



## 植物

ユリ（猫に猛毒）  
イヌサフラン  
スズラン



## 虫・野生動物

マダニ（SFTS）  
ハチ  
エキノコックス



## 化学薬品

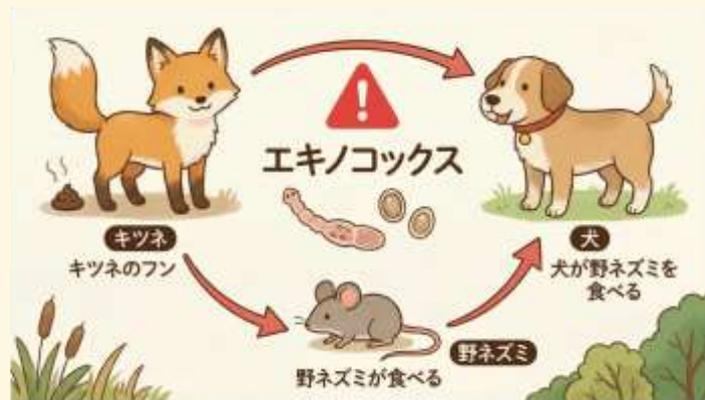
除草剤  
ナメクジ駆除剤  
殺虫剤



## 食べ物

拾い食い  
宴会の残り物  
串の誤飲

# 北海道特有 エキノコックスに注意！



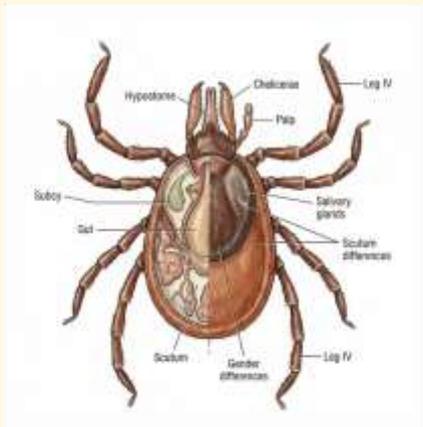
## ❌ やってはいけない！

- ❌ 犬の放し飼い
- ❌ 野ネズミの捕食・拾い食い
- ❌ キツネに餌をやる・近づく

## ✅ これで予防！

- ✅ 散歩はリード（2m以内）着用
- ✅ キツネがよくみられる地域は定期的な駆虫で感染予防！
- ✅ 帰宅後の手洗い・足洗い

# マダニとSFTS（重症熱性血小板減少症候群）



## SFTSとは？

マダニが媒介するウイルス感染症。

人、犬、猫に感染します。

特に猫ちゃんは重症化しやすく、命に関わる場合があります。

## 飼い主さんができること

- ✅ **ダニが活発化する3～4月から予防を開始！**  
(気温が13～15℃になるタイミングが予防開始の目安となります)
- ✅ **お散歩後は、全身をチェック**  
(耳、目の周り、お腹、指の間など)
- ✅ **草むらや藪にはなるべく入らない**

**マダニを見つけても、  
絶対に無理に取らないで！**



口器が残ったり、体液が逆流して危険です。  
すぐに動物病院へ来てください。

# 🦟 まだある！マダニが運ぶ怖い病気



## 北海道で発生報告あり！

これらは人にも感染する「人獣共通感染症」です。

### ダニ媒介脳炎



- ☑ ウイルスによる感染症
- ☑ 神経症状（麻痺・けいれん）
- ☑ 発熱、ふらつき
- ☑ 重症化すると命に関わる

### ライム病



- ☑ 細菌による感染症
- ☑ 関節炎（歩き方がおかしい）
- ☑ 発熱、食欲不振
- ☑ 腎臓が悪くなることも



マダニ予防＝最大の防御！

## 危険な植物①：ユリ（猫に致命的）



▲少量でも命に関わります

### ☠ 急性腎不全を起こします

猫がユリを摂取すると、数時間～数日で腎臓が機能しなくなり、亡くなってしまうことがあります。

### 🔍 ここが危険!

- 📍 花びら・葉・茎 すべて猛毒です
- 📍 花粉：毛についた花粉を舐めるだけで危険
- 📍 花瓶の水：ユリを生けていた水も毒になります

猫ちゃんがいるお家には、  
絶対にユリを持ち込まないで!

# ！ギョウジャニンニクも危険！



ギョウジャニンニク、イヌサフランともに犬と猫には有毒です！

## ギョウジャニンニク



- ❑ ネギ属（タマネギ中毒）
- ❑ 成分：アリルプロピールジサルファイド
- ❑ 症状：貧血、血尿、黄疸
- ❑ 最悪の場合、心不全や肝不全に

## イヌサフラン



- ❑ 猛毒植物（誤食事故多発）
- ❑ 成分：コルヒチン
- ❑ 症状：激しい嘔吐・下痢、呼吸困難
- ❑ 致死率が高く非常に危険

## 危険な植物③：スズラン、チューリップ

⚠ 誤食注意



球根部分は特に毒性が強いので要注意！

### 📍 中毒症状

- 激しい嘔吐・下痢
- 不整脈（心臓への影響大）
- よだれ、ふらつき
- 最悪の場合、心不全を起こすことも

### 🛡 対策・予防

- 散歩中は花壇に顔を近づけさせない
- 庭に植える場合は柵で囲う
- 切り花を飾る場所にも注意

# ハチ刺されに注意！

4月～10月はハチが活発です。草むらや花壇に近づくときは要注意！



## 局所症状（軽症）

- 刺された場所が腫れる
- 「キャン！」と鳴いて痛がる
- 患部を気にして舐める
- 足を引きずる（足を刺された場合）



## アナフィラキシー（重症）

- 顔全体がパンパンに腫れる
- 嘔吐・下痢・失禁
- 歯茎が白くなる（ショック状態）
- 呼吸が苦しそう・ぐったりする



重症サインが出たら、一刻も早く動物病院へ！

# 毛虫・マムシにも注意



## 毛虫（チャドクガ）

毒針毛に触れるだけで  
激しいかゆみ・皮膚炎  
を起こします。

 **こすらない！**

(毒が広がってしまいます)

## マムシ

噛まれると激痛・腫れ。  
命に関わることもあります。  
※鼻先や足を噛まれることが多いです

 **走らせない！**

(抱っこして病院へ)



予防：草むらや藪（やぶ）には入らない！

# 🦠ナメクジ駆除剤は「甘い罠」！？

成分の「メタアルデヒド」は神経毒です。絶対に食べさせないで！

## ❗ なぜ危険？

- ❓ 甘い味と匂い がするため、ペットが好んで食べてしまいます。
- ❓ 神経に作用する猛毒 です。

### 主な中毒症状

激しい震え

けいれん

高熱

大量のよだれ

運動失調

## 🛡️ 予防と対策

- ❓ ペットが遊ぶ庭には撒かない  
(別の駆除方法を選びましょう)
- ❓ 保管場所に注意  
(高い棚や鍵のかかる場所へ)
- ❓ もし食べてしまったら...  
すぐに動物病院へ！  
(パッケージを持参してください)

# ☼除草剤・殺虫剤

お散歩コースの「緑」にも危険が潜んでいます。



散布



待機



立入禁止

## 散布直後は立ち入り禁止！

最低でも24時間は近づかないようにしましょう。  
(乾いていても成分が残っていることがあります)

### ☑ お散歩のチェックポイント

- ☑ 看板・掲示板を見る  
「散布しました」の張り紙がないか確認
- ☑ 帰宅後は足を洗う  
足についた薬剤を舐めないように
- ☑ 濡れている草は避ける  
雨上がりでないのに濡れていたら薬剤かも
- ☑ 草を食べさせない  
除草剤がかかった草は特に危険

# 🍷 花見シーズンの危険：宴会の残り物



地面には危険がいっぱい！



## 焼き鳥の串

丸飲みして胃に刺さる事故が多発。  
開腹手術になることも。



## アルコール

こぼれたお酒を舐めるだけで  
急性アルコール中毒に。



## 玉ねぎ・ネギ

焼き鳥や炒め物に含まれる。  
貧血・血尿の原因。



## 骨付き肉

鶏の骨は裂けやすく、  
喉や内臓を傷つけます。



お花見会場ではリードを短く持ち、  
絶対に目を離さないでください！

# もしも食べてしまったら？

慌てずに、落ち着いて以下の手順で行動してください。

1



確認

何を・いつ・  
どれくらい食べた？  
(メモを取るとベスト)

2



電話

動物病院へ連絡。  
状況を伝えて  
指示を仰ぐ。

3



持参

食べたものの残り、  
パッケージ、  
吐いたものを持参。

4



受診

すぐに病院へ。  
到着したら  
受付に伝える。



NG行動

❗ 無理に吐かせないで！

塩やオキシドールを使うのは危険です。誤嚥や症状悪化の原因になります。

❗ 「様子を見よう」は危険！

中毒症状は急激に悪化することがあります。自己判断せずに相談を。

# 📌 予防のポイントまとめ

## 🏠 お家の中

- ❓ 観葉植物や切り花の種類を確認  
(特にユリ科はNG)
- ❓ 薬・洗剤・駆除剤は届かない場所へ
- ❓ 人間の食べ物を出しっぱなしにしない
- ❓ ゴミ箱には蓋をする

## 🚶 お散歩中

- ❓ 草むらや藪（やぶ）には入らない
- ❓ リードを短く持ち、拾い食いを防ぐ
- ❓ 帰宅後は全身チェック&足洗い
- ❓ ノミ・マダニ予防薬 を忘れずに！



少しの注意で、楽しい春を過ごしましょう！

# 困ったときは当院へ



## オオツ動物病院

📞 0138-42-6321

📍 北海道函館市富岡町1丁目21-4



	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	○
午後 15:00～	×	19:30	19:30	17:00	19:30	18:00	17:00

※祝日: 9:00～12:00 / 15:00～17:00 (月曜祝日は午前のみ)

※12:00～15:00は手術・往診時間

**⚠️ 緊急対応**

毎日～24:00まで対応 (12/31～1/3は～22:00)

早期発見・早期治療が大切です。少しでも「おかしいな？」と思ったら、迷わずご相談ください。